

事業報告

障害者就労移行支援事業（ワークス落穂）

平成 29 年度利用定員 7 名

実利用者数 2 名

平均利用人数 1.5 人

一般就労者 1 名

職員数 管理者 1 名 サービス管理者 1 名 （3 事業兼務）

就労支援員 1 名、職業指導員 1 名、生活支援員 1 名 計 3 名

【就労移行の支援内容】

1、パソコン基礎及び応用の学び

Word・Excel・インターネット・イラストレーター等

2、ビジスマナーの習得（挨拶・面接・考え方等）

3、一般知識を知ること

4、コミュニケーション能力を身につけていく

5、就労訓練（実習）

6、機関への訪問（ハローワーク・役所など）

7、施設外見学・実習・就労

【効果】

平成 29 年度は一般就労への移行は 1 名を実績としてあげることができました。

就労継続支援 A 型への移行は実績対象外となっていたことで、重度障害者の一般就労が難しい状況の中で、昨年（平成 28 年度）に引き続き連続で一般就労への実績を上げることができたことが、良い結果だと思います。

各関係機関や就労支援部会等に関わることで、1 名の利用者の確保につながり上記の実績を上げることができました。

また、パソコン特殊ソフトの習得にも力を入れ、名刺作り等に関わることもできました。

【課題】

脳性麻痺（車いす利用者）の方を中心としてきましたが、実績を作るのにはとても困難な課題だと考えます。前年度に引き続き一般就労の実績を上げられたのも、利用者が重度ではなく軽度な知的障害がある方でした。ひきつづき実績を上げるためにも軽度の障害のある方に利用していただかないと難しいと考えます。

【廃止に伴って】

平成 20 年 3 月から始まって約 10 年就労移行支援事業を展開して参りました。

その間、いろんな障害がある方に利用していただきまして、障害者の就労窓口としても運営してきました。

就労移行の事業が経営的に難しい状況の中また、年々利用者が減るなかでも、支援学校卒業の方を受け入れる為に B 型アセス（実習）を受け入れながら、就労継続支援 B 型利用者等の確保も就労移行で行ってききましたが、今回、平成 30 年 5 月 31 日を持ちまして、廃止することとなりました。

長い間支えていただきました。関係者様に深く感謝申し上げるとともに、残された事業が益々障害者の就労・生活のサポートを充実して運営できるように、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

尚、平成 30 年 6 月 1 日より就労継続支援の利用定員を 30 名から 35 名、生活介護事業の定員を 23 名から 25 名に変更して、フリーダム創生全 60 名の定員で運営していきます。